

らふれた

発行：株式会社ラプロス
発行人：代表取締役 樋口繁樹
〒810-0001
福岡市中央区天神 1 丁目 12 番 1 号
日之出福岡ビル 5 階
TEL092-737-2211
FAX092-737-2212
弊社の HP は下記 URL よりご覧いただけます。
<http://www.lapros.co.jp/>
編集担当：渡辺、中村、藤吉

昨今の豪雨や台風、地震等により被害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げます。このコロナ禍で心身共にご苦労が絶えないことも少なくないかと存じます。今日という日を大切に、丁寧に生きていく先に明るい陽の当たる道が必ずある。そう信じて共に頑張りましょう。

コロナ禍 2 度目の秋に思うこと

この 9 月 3 0 日限りで福岡においても緊急事態宣言が解除されました。9 月末が近づくにつれて道路渋滞がひどくなってきたことからみても、営業再開に向けての活動が活発になり、街に徐々に活気が戻ってきているようです。

1 年前を思い出すと、新薬開発どころかワクチン開発もまだ見えない暗中模索の中、第 2 波が収まりかけ G o t o キャンペーンが始まり、第 3 波への恐怖感との戦いの時期でした。ちなみに僕は G o t o トラベルもイトも利用せずじまいでしたが、家人との外食は週に 2 回程度はしておりました。その頃には大人数の居酒屋、焼鳥店系には怖くてまず行けず、キャパの少ない 3 ～ 4 グループしか入れないような、限られた 7 ～ 8 軒の馴染みのお店をヘビーローテーションで回していました。その内のあるお店に家人と行きますと、合コンと思われる男女二組と隣り合わせになりました。会話によると G o t o を利用してその店に初めて訪れたようでした。女性の内の 1 人は税務署勤務のようです。別に聞き耳を立てていたわけではなく（そういう趣味はありません…）、食事をしながら大きな声でおしゃべりしているから勝手に耳に入ってくるわけです。キャハハ！ガハハ！と笑いながらコロナ前と同じ調子で、マスク会食どころではありませんよね。いつもは 2 時間くらいゆっくり過ごすのですが、これは危うきに近寄らず…とばかりに 1 時間そこそこで食事を済ませ引き上げました。ついでに税金も払いたくなくなりました～。（^^）



今回のコロナ禍は色んな世情を浮き彫りにというか顕在化させているようです。業種による業績の明暗、雇用の安定と不安定、地域ごとの警戒感の違い、個人の対新型コロナ感覚の違い、ワクチンへの向き合い方などなど…。

ちなみに前段でお話したお店には残念ながら僕はもう行かないと思います。コロナ禍で旅行にも行けず、美味しい食事を頂くことを何よりも楽しみとしている僕としては、行くお店の求めている客（ソワニエ）でありたいと思っています。こちらもある意味来てもらいたい客かどうかとも試されている（少々大袈裟ですが…）、その価値観の合うお店でないといくら美味しくても《楽しい食事とセットの豊かな時間》が過ごせないと思うのです。そのお店での出来事により価値観が僕や家人と合わない、ということが浮き彫りになったわけです。（お店にとってこちらが合わなかったのかも、ではありますが…）

今回の宣言解除後の秋は、ワクチン接種が一定程度行きわたったこともあり実証実験的に経済を動かし、ゼロコロナを目指すのではなく《年末あたりに第 6 波が来る》という前提で、皆で経済を回しながら対策を考える、そこはこの 1 年半と大きく違い前向きな気持ちになれますよね。



最近のニュースによると経口薬の新薬の治験でメルク、ファイザーなどが最終段階、日本でも塩野義製薬などもそれに近い段階まできているとのこと。軽症と中等症に飲み薬ができれば収束も間近です。もうひと踏ん張りですよ～！でも油断せずに～！です。皆さん一緒に第 4 コーナーをラストスパートで逃げ切りましょう！たしか前回も同じ締め言葉だったような、まっ、いいか。



代表取締役 樋口繁樹

旅行に行きたい

文：中村

皆さまのお手元にこの 1 1 月号が届いている頃には紅葉も色づいているでしょうか？コロナウイルスの影響で昨年からお花見や紅葉などを楽しむことができなくなりました。

以前はちょうど紅葉の時期に合わせて友人と京都に行ったりもしていましたが、最近はもちろんそんなことはできず。行きたい場所が増えていくばかりで旅行に行きたい欲が止まりません。

ずっと行きたかった和歌山のアドベンチャーワールドにも未だ行けず。赤ちゃんパンダの楓浜（フウヒン）にも会えずじまいで、貴重な赤ちゃんパンダを直接見ることはとうとうできませんでした。ただただネットで楓浜と良浜（ラウヒン）のパンダの親子の動画を見て、楓浜がすくすく育っている様子に癒されるのみでした。



他にも行きたい場所はたくさんあります。沖縄や京都、大阪、金沢、徳島の大塚国際美術館にも行きたいです。北海道に行くときには、ずっと泊まってみたかった星野リゾートトマムで雲海を見たい！（お天気が良くないと雲海を見ることができないので、運次第ですが（笑））もちろん海外旅行にも行きたい！（1 番行きたいのはドイツです。オクトーバーフェストのシーズンに行きたいです。ノイシュバンシュタイン城も見たいな



～）といろいろと行きたいところが増え続けています。コロナが終息したら少しずつ叶えていきたいと思います。

ただ、行きたいところがひたすら増え続けているので、コロナが終息したところできっとまずどこから行こうとか考えるところから始めないといけないなと妄想ばかりが膨らんでいます。（優柔不断なので行けるようになったとしても、行き先を決めるのにかなり時間がかかりそうです。）



いつになるかはわかりませんが、いつかドイツに行けるようになった時のために、大学生の時に第二外国語で学んでいたドイツ語を勉強しなおそうかとも思いましたが、「そういえばドイツ語って男性名詞・女性名詞・中性名詞とあって複雑で覚えるのが大変だったな・・・」ということ思い出しました。

当時のドイツ語の先生が覚えやすいように『アルプス一万尺』のメロディーにのせて、定冠詞の歌を教えてくださいましたのですが、その歌をおぼろげには覚えていても、どれをどう使うのかはきれいさっぱり忘れてしまっていたり・・・。もはや挨拶ぐらいしか覚えていません。もし行くことになったとしてもそのまま行ってしまいうndらうな～と思います。（今は便利な翻訳アプリもありますし・・・いいですね（^ ^ ;））

海外に行けるようになった時のことを考えてはワクワクしています。まだ当分の間は実現しないと思

いますし、現地に行ったらここに行って～あれをして～と考える時間がたくさんあるということで、綿密に計画して行ってもいいし、大枠を決めて行き当たりばったりで行っても楽しめますよね。（後者になる可能性が大です）

早くコロナが終息することを祈りつつ、とりあえずはおうち時間を楽しんでいる今日この頃。最近の悩みはおうち時間で怠けてついてしまった脂肪です。どうにかしたいと思い、何かしら試みてみますが、もともと 3 日坊主なこともあって続きません。気が向いた時に Y o u t u b e を見ながら「痩せるダンス」を踊ってみたり、「二の腕に効くストレッチ」をやってみたりしてはみたものの、どれも続きません・・・。



こうなったら N i n t e n d o S w i t c h のリングフィットアドベンチャー（あのガッキーの CM でお馴染みの）を買ってやってみようかなと思ってみたりもしています（笑）「ゲームだったら楽しく続けられるのかな？」と淡い期待を持ちつつ、「続かなかつたらもったいないしな～」とも思ったり。脳内ショッピングカートに入れては消し、入れては消しを繰り返している日々です。こんな私でも、いつか痩せられる日が来るのでしょうか？（笑）何かおすすめのダイエットメニューや筋トレメニュー、ストレッチなどありましたら教えてください。続けられるように頑張りたいと思います。



その60

『色と形と』の巻

私アラキの戸建てへの思いをつらねるこのコーナー、今回で60号となりました。

前回のらぶれたーでは、東京2020のピクトグラムを真似して落書きのようなを描いたところ、約3名の方々から反響をいただきました！ありがとうございます。私のピクトグラムもどきでクスッと笑えていただければ嬉しいです。

オリンピックで初めて有効にピクトグラムが用いられたのは1964年の東京大会だそうです。その当時にピクトグラムをつくっていく様子をドラマ化したNHKのテレビ番組を、昨年たまたま観ました。デザイナーと呼ばれる若い人たちを一室にカンヅメにして、課題に対してアイディアを競わせてピクトグラムをひとつひとつ作り上げていくという内容でした。そこでは田中一光らをはじめとする、後のデザイン界、芸術界を代表することになる人たちが、日本を訪れる様々な国の人たちにひと目で理解できるピクトグラムをつくるのが戦後復興の日本にとって大きな意義のあることだと取り組み、その結果、世界から評価された素晴らしいピクトグラムができたのです。ところが、彼らの仕事はボランティアだったそうです。

今年の東京オリンピック2020では、ピクトグラム作成料3258万7500円が妥当かどうか議論を

呼んだそうです。日本人って、知的生産物や頭脳労働に価値を認めないですね。形のある物でなければお金を払わない、わからないことはタダで教えてもらう、本や音楽はタダでコピーする、そういうのはちょっと違うと思うわけです。あのピクトグラムと、それをネタにした「が〜まるちょば」のパントマイムには、私は十分な価値を認めます。

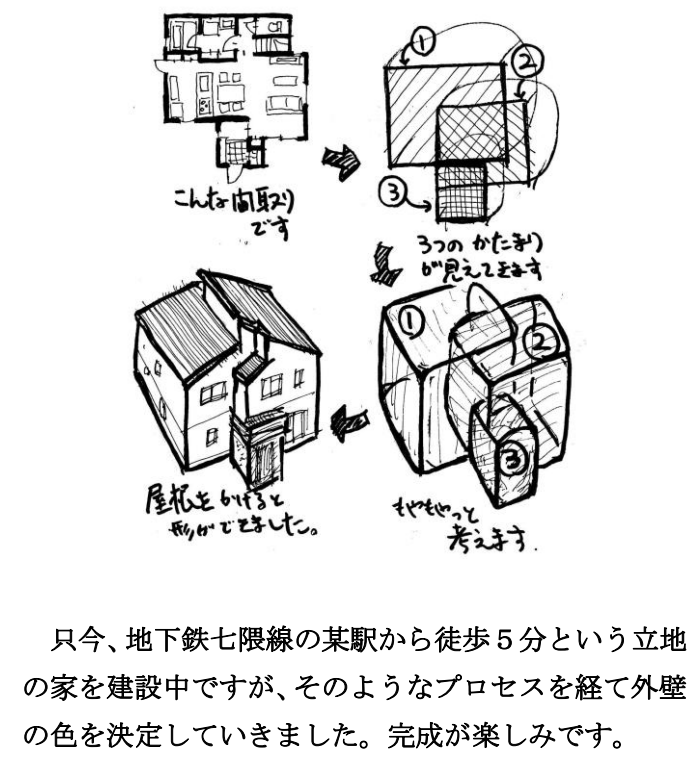
ところで、東京オリンピック1964のグラフィックデザインで忘れてはならないのは、亀倉雄策先生がデザインした躍動的な写真を用いたすばらしいポスターです。以前もらぶれたーに書きましたが、私がまだ20代の頃、設計していたマンションについて亀倉雄策先生にデザインをご指導いただいたことがあります。亀倉先生のところを訪れては、徹夜で作った模型や図面を見ていただきながら、いろいろなアドバイスを受けたことをよく覚えています。

その中で感じたのは、二次元と三次元という捉え方の違いでした。グラフィックデザイナーである亀倉先生は二次元、例えて言うとか紙の上に線を描き様々な色を組み合わせる全体のデザインを美しくバランスさせるような考え方をされます。けれども建築は三次元、つまり立体ですので、線を引いたように色を変えることは簡単にはできません。色を変えることは素材を変えることになるので、素材と素材がぶつかる部分には施工上の工夫が必要なのです。亀倉先生のデザインを具現化することに腐心しました。

最近はやりのインスタグラムを見ると、家の中におしゃれな空間づくりをしている写真がたくさんあります。たとえば、室内の壁の色を一箇所だけピンクのクロスにしてインテリアのアクセントにするなど。このように壁や天井のクロスの一部をアクセント色に変え

るとき、どこからどこまでの範囲とするのかが悩みどころです。デザイン上のことも大切ですが、施工のことも考えなければいけません。壁の途中で色を変えるのは唐突ですし、出隅（ですみ）でクロスを貼り分けするとそこからクロスが剥げてきます。色を変えるのは入隅（いりすみ）で行うのが基本。これはクロスだけではなく、外壁サイディングやタイルの貼り分けなどもそうです。

プロスペリテシリーズの外壁の色を決めるときには、まず凸凹した家の形を大きな塊のシンプルな組み合わせに分解します。塊ごとに色や質感を決めていくわけですが、周辺のまちなみへの調和や、想定されるお客様の好みと思われる色を探ります。家の顔となる玄関は、落ち着きや重厚感のあるアクセント色とします。



只今、地下鉄七隈線の某駅から徒歩5分という立地の家を建設中ですが、そのようなプロセスを経て外壁の色を決定していきました。完成が楽しみです。

赤澤の

今が旬

～ サイクリングの秋 ～

昭和57年、世の中に初代500円硬貨が出回ろうとしていた頃、「チャリンコ」という俗称が中学生の間でも流行り始めていました。中学1年生の春休みにチャリンコで一泊旅行をしようということになり、友人N君の家に集まり、4人で作戦会議を立てました。（インターネットが無い中）九州地図を広げ、皆で目的地探しやルート検討をしましたが、すごくワクワクしたのを覚えています。

日の出と共に出発し日没までに到着できる場所を探した結果、長崎県の平戸を目指そうと決まりました。自転車での距離は約100km、日本最西端の駅

「平戸口」あたりに当時は国民宿舎があり、ちょうど良いということで。

今思えば、高校の社会科では地理を選択し、その後不動産業界へ進んだきっかけが、この地図を広げての作戦会議だったのかもしれません(^◇^)。友人N君も旅行業界へ進んでいたことを大人になって知りました。

往路のお昼に母の弁当を食べた場所は、予め決めておいた中間地点の唐津付近。国道202号線をひたすら西へ走ったため鼻の穴が真っ黒になっていました。ヘトヘトになって、平戸口の国民宿

舎に到着したのは夕暮れ時でした。

大浴場に入り、夕食の後は卓球大会です。隣の卓球台では、社員旅行とみられる男女グループが浴衣姿のほろ酔いで温泉卓球を楽しんでおり、思春期の中学生にはインパクトがありすぎて卓球以外のことはあまり覚えておりません。

たぶん、疲れてすぐに寝てしまったのでしょう。

翌朝は平戸側へ渡って平戸大橋で記念撮影をし、福岡へ向かって走り始めました。往路はさほどバラつきなくサイクリングできたのですが、復路はA君が遅れがちになりました。往復200kmの箱根駅伝に近い距離を、中一男子4人チームで先頭や後方など順番を入れ替わり、途中で仲間を励ましたりしながら、自分たちの力だけで完走できたことは助け合いや粘り強さの原点であり、達成

感も味わえることになりました。

真っ暗な中、疲れて自宅付近へたどり着くと母達が外で待っていました。自分も親になったので分かりますが、携帯電話も無い時代だったので事故にあっていないか等心配だったでしょう。

今も自転車通勤で毎日サイクリングしていますが、健康的にCO2削減に寄与できますね。電車・バス通勤に比べてコロナ感染対策にもなります。

春や秋には能古島、志賀島、玄海島などの近場へ自転車を船に積んで渡り、サイクリングを楽しんでいます。

三代目500円硬貨が発行されるこの秋、40年ぶりに平戸を目指そうかとも思いましたが、日帰り圏内で地図を広げてみます。パソコン画面ですが(^_-)☆

突然ですが…

クイズ

です!!

星空の美しい季節となりましたが、11月に見られる流星群は次のうちどれでしょう？(18日の2時ごろがピークのようなです)

1.しし座流星群

2.うしかい座流星群

3.しぶんぎ座流星群

ご紹介

キャンペーン

家や土地のご購入や売却を検討されているご家族・ご友人をご紹介ください！ご紹介いただいた方がご成約に至った場合

5万円分の商品券をプレゼント！

詳しい情報につきましては右のQRコードからご確認頂けます。ぜひ一度ご覧ください(^ ^)♪

いなり豆！お豆湯のーーーに♪

PROSPERITE

公式サイト

https://lapros.net

公式Instagram

@lapros_prosperte

編・集・後・記

藤吉

「秋の大掃除」のすすめ。慌ただしい年末に他のことに集中できる時間を確保するとともに、「今が旬」でもあります。

暑すぎず寒すぎない秋は、窓全開で掃除ができ体を動かしやすく、外や水回りの作業が楽です。夏に酷使したエアコンの掃除も、カビ対策の面で暖房を使用する前のこの時期に。大掃除の

メインイベントのひとつ、窓ガラス拭き。空気が乾燥する寒い時期より汚れが落ちやすく、今がベストタイミング。何より寒くないですね。

一年の終わりにスッキリして新年を迎えたいという方は「中掃除」くらいでも。何か少しでもこの時期に済ませておくと、年末は時間と心に余裕ができます。（少し早い…。）